

中期3ヶ年経営計画

(2017～2019年度)

2017年2月22日

日本フェンオール株式会社



「2017-2019年度」中期経営計画 全社基本方針

ビジョン

安心を創造し人と社会をつなぐ企業を目指す

全社 基本方針

- 既存事業全域において競争力の強化を図る
- 人材育成強化による組織の改革
- 差別化された製品や技術が生まれる環境を作る
- 営業力の強化および収益性の向上を目指す

重点施策

- 1 社員の意識改革や能力開発の推進
- 2 顧客アプローチ方法の推進、事業間連携の強化
- 3 部門を超えた人材の流動化
- 4 IoT時代に適したシステムの構築



持続的成長の実現

SSP

- 防爆型煙感知器の海外市場展開
- 防爆型煙感知器および Fシリーズの販売市場の創出
- ガス消火システムに注力し、SSPの収益基盤とする

サーマル

- ニッチトップとなる高付加価値製品の得意分野への投入
- 半導体業界に於けるシェア拡大
- 主力となる新たな製品の創出

メディカル

- 主要顧客の満足度の向上
- 差別化された自社製品の上市
- 主力となる新たな製品の創出

PWBA

- 新規顧客開拓を強化し、主要顧客への依存度の低下
- 顧客最優先を徹底し、顧客満足度を高める体制の構築

基本方針

研究開発

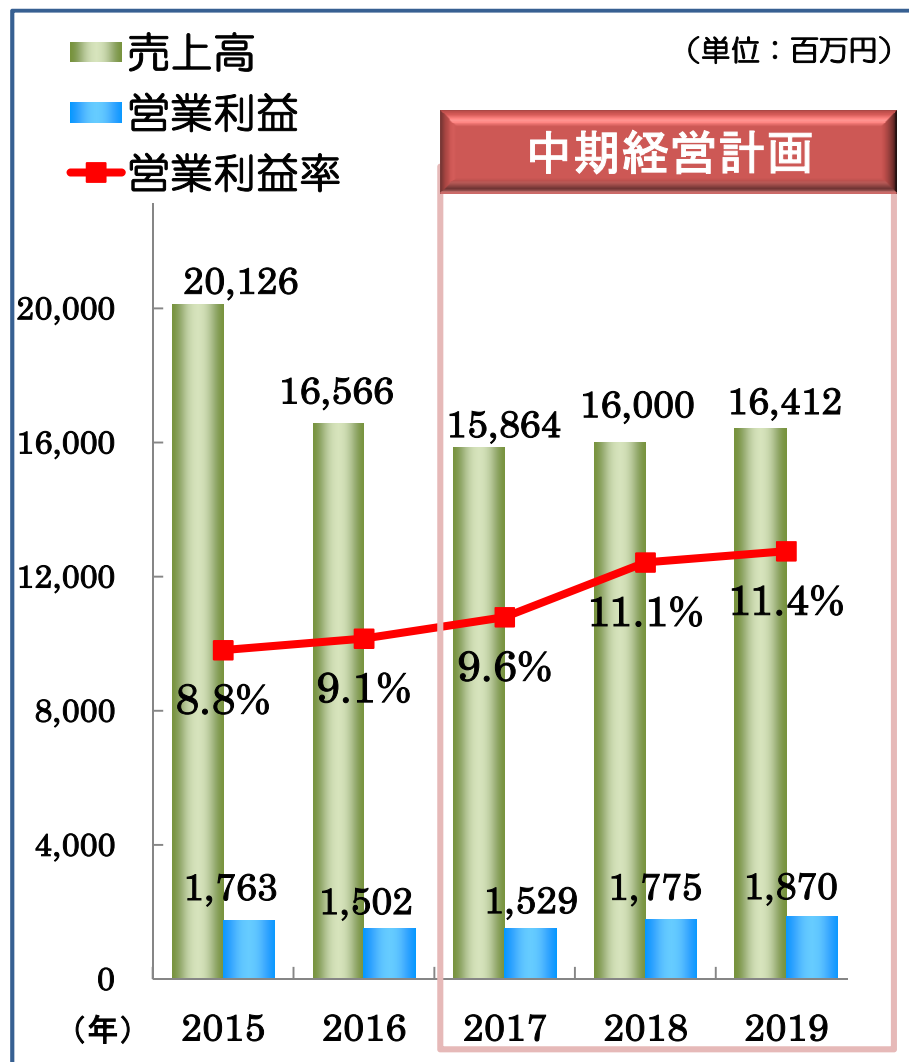
- 開発技術力の向上
- 開発速度の向上と開発納期の遵守
- 行動、工夫、ノウハウの共有化

工場

- 徹底した究極のコストダウンにより競争力のある工場への改革



「2017-2019年度」中期経営計画（全体計画）



数值目標

（単位：百万円）

	2016年	2019年
売上高	16,566	16,412
営業利益	1,502	1,870
営業利益率	9.1%	11.4%



長野工場

基本方針

工場改革により、競争力のある強力な生産体制を確立し「高効率生産」と「高付加価値化」を実現

工場改革の取組

1 業務プロセス改善

■ 業務のスリム化・単純化と短納期化の実現

2 工程改善

■ 工程分析、設計の見直しによる工数低減と製造リードタイムの見直し

3 生産管理システムの再構築

■ システム化により、業務の単純化、スリム化、省人化、短納期化を実現

4 部材価格低減

■ 購入部材を層別し、発注方法・発注量の変更VA/VEを通しての原価低減



高効率組織、高い技術力、先端的生産設備、革新的生産管理システム等のリソースの確保により、競争力のある工場の確立を目指す

■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。